



【ものづくり 人づくり 地域づくり】

福島原発事故被ばくから4年半

関東子ども健康調査支援基金

10/17 甲状腺市民検診2年次報告会

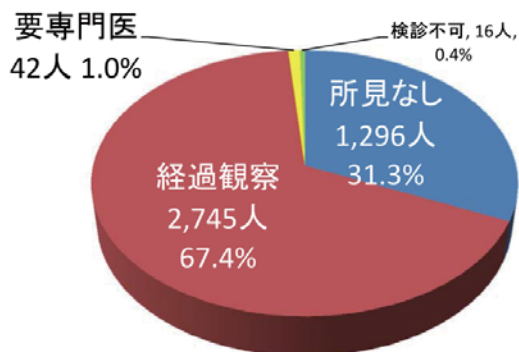
(常総生協本部に茨城・千葉・埼玉・神奈川・栃木のみなさんが集合)

2年間で4,099人の検診



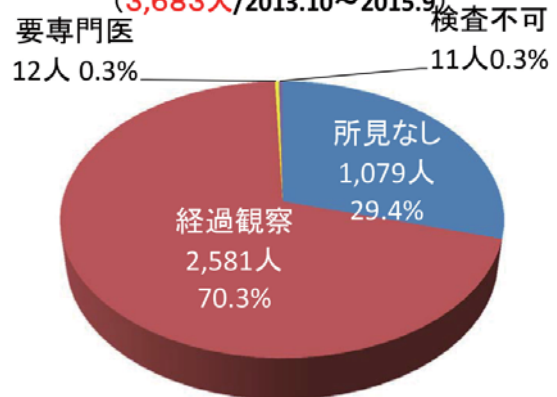
2年間の延べ検診結果

(4,099人/2013.10~2015.9)



(内)事故時18歳以下の延べ検診結果

(3,683人/2013.10~2015.9)

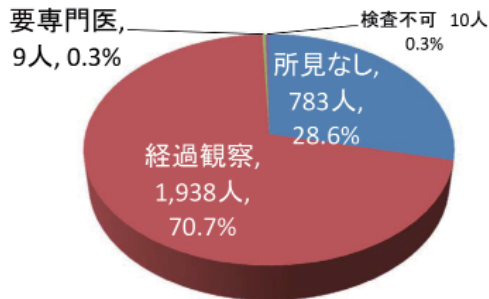


10/17 甲状腺検診2年次報告会

期間	今期 (2014.10~2015.9)		累計 (2013.10~2015.9)		備考
	検診人数				
全員	検診人数	1,999人	4,099人		
	有効検診者数	1,993人	4,083人		消いたりして検診できなかった子を数いた数
事故時 18歳以下	検診者数	1,866人	3,672人		
	有効検診者数	1,862人	3,661人		
	個人単位検診者数		2,730人		



事故時18歳以下個人単位検診結果 (2,740人/2013.10~2015.9)



【事故時18歳以下の子の個人ID単位の(最新の)検診結果】

(備考) 事故時18歳未満で「要専門医」が9人いますが、甲状腺がんの子はいませんでした。

関東での私たち市民の手による検診は、2年間で延べ4,099人、事故時18歳未満の子で個人ID単位では2,740人と母数が小さいため、母集団を統計的に推計するのはまだ困難です。

104名の子の甲状腺がんが確定し(0.035%:1万人に3.5人)「小児甲状腺がん多発」とされた福島の県民健康調査では事故時福島の18歳以下の子30万人の検診、また先般3名の甲状腺がんが見つかった北茨城市の検診も18歳以下6,151人の過半数の子3,593人の検診です。

私たちの検診は、統計が目的ではなく、具体的な一人ひとりの検診と継続的な見守りが大事だと考えています。

年月日	県	会場	家族数	検診件数
27 2015/09/13(日)	神奈川県	相模原会場	54	82
26 2015/09/12(土)	神奈川県	横浜市会場	66	92
25 2015/08/09(日)	神奈川県	横浜賀会場	18	29
24 2015/08/08(土)	神奈川県	川崎会場	25	41
23 2015/07/12(日)	埼玉県	三郷会場	35	58
22 2015/07/11(土)	埼玉県	三郷会場	52	90
21 2015/07/04(土)	栃木県	益子会場	74	106
20 2015/06/14(日)	栃木県	那須塩原会場	33	45
19 2015/06/13(土)	栃木県	那須塩原会場	57	84
18 2015/05/16(土)	茨城県	守谷会場	92	138
17 2015/05/10(日)	茨城県	日立会場	27	47
16 2015/05/09(土)	茨城県	日立会場	33	52
15 2015/04/12(日)	茨城県	水戸会場	19	42
14 2015/04/11(土)	茨城県	水戸会場	35	58
13 2015/03/15(日)	茨城県	取手会場	36	54
12 2015/03/14(土)	茨城県	牛久会場	44	77
11 2015/02/14(土)	茨城県	守谷会場	87	146
10 2015/02/08(日)	千葉県	松戸会場(常盤平)	33	56
9 2015/02/07(土)	千葉県	松戸会場(小金原)	42	75
8 2015/01/11(日)	茨城県	ひたちなか会場	21	39
7 2014/12/14(日)	栃木県	塩谷・矢板会場	30	61
6 2014/12/13(土)	栃木県	塩谷・矢板会場	44	74
5 2014/11/09(日)	千葉県	東葛会場	70	117
4 2014/11/08(土)	千葉県	白井会場	63	102
3 2014/10/12(日)	茨城県	ひたちなか会場	37	50
2 2014/10/11(土)	茨城県	ひたちなか会場	56	92
1 2014/10/05(日)	茨城県	つくば会場	58	92
【2年次計】	14-15年	27会場	1,241	1,999
【1年次計】	13-14年	22会場	1,217	1,936
2013年度前半		地域病院依頼分	108	164
【累計】		49会場	2,566	4,099

【基金判定を設けました】

福島での甲状腺検診の判定(A・A2・B・C)は、のう胞・結節の大きさに特化した機械的判定のため、基金では個々ののう胞・結節、甲状腺の状態、結節の性状(良性・悪性)も加味した判定を行うこととしました。

【基金判定】		参考(福島判定)	
1. 所見なし	現時点では特に何も見当たりません(定期検診をおすすめします)	A1判定	のう胞・結節をみとめないもの
2. 所見あり	のう胞、結節が見られました(定期検診で経過観察が必要です)	A2判定	5mm以下の結節、20mm以下ののう胞を認めたもの
		B判定	5.1mm以上の結節、20.1mm以上ののう胞を認めたもの
3. 要専門医	専門医・専門機関での精密検査が必要です	C判定	直ちに二次検査(穿刺細胞診)を要するもの
のう胞、結節の「大きさ」のみ基準にするのではなく、個々の「状態」を加味した判定を行う		のう胞、結節の「大きさ」を唯一の基準に特化した判定	

《基金設立第二年度のまとめ》

1. 毎月の検診を継続し、2年次は1,999名の検診を行い、のべ4099人の検診を行いました。
2. 協力医の充実をすすめて、医師研修会も開催できました。
3. 検診運営団体が増え、茨城・千葉・埼玉・神奈川・栃木での14団体になりました。
4. 基金会員は個人803名・団体58団体となり、またこれまで305件の寄付を頂きました。
5. 運営スキルの向上検討をすすめました。活動の広報もおこないました。
6. 運営団体の懇談会を年次報告会時開催できました。

《今後の課題》

1. (継続性と地域性) 10年ー20年継続できる体制をととのえましょう
2. (財政基盤の強化) 継続のための財政基盤を固めていきましょう。
3. (健康調査) 甲状腺以外の慢性疾患の検診について、課題の一つとして見据えます。



各地の検診運営委員懇談会を開催。また検診自立化に向けて研修会。



年次報告会ののち、茨城県・千葉県・埼玉県・神奈川県・栃木県の検診運営団体14団体はじめて一堂に会して懇談会を開催し交流・懇談をおこないました。

これまで、基金代表者および事務局(常総生協)が各地の検診に向いて支援してきましたが、3年次は自分たちの手で検診が開催できるよう自立してゆくことを課題としました。

受付から検診終了までの手順マニュアルも実演しながらみんなで確認しました。また機器類の設置・接続についてもみんなで研修しました。

福島第一原発沖「海洋調査」参加者募集

9月に引き続き、いわき市民放射能測定室
たちねさん主催の「福島原発沖海洋調査」
に常総生協として参加します。

11月20日（金）9：00～13：00
（天候により、27日に延期する場合あり）
朝8：30いわき市久ノ浜漁港集合
朝6時前に生協ワゴン車発。現地集合可。

9時に久ノ浜より船を出して、福島第一原発
沖合1km 地点で調査活動を行います。

（作業内容）
海上 GPS 位置確認、船上空間線量確認、
海水採取、プランクトン採取、魚釣り



※船酔いしない方。海釣り得意の方歓迎！

11/28（土）稲葉恭二先生「おせち料理教室」のご案内

稲葉先生の「調理基礎講座」が終了しま
したので、続いて『節句料理教室』を開催
いたします。このシリーズはその都度募集
をかけます。

日本の四季折々、季節の節目ともなるお
節句料理はたいせつな伝統食でもありま
す。いつものご飯とはちょっとちがうお節
句料理を通じて、和の食文化を継承いたし
ましょう。

初回は年の初めを祝うお節料理です。お
うちごとにたいせつにされてきたお節料
理に加わる一品に出会えるかもしれませ
ん。

今回の料理講座ではより多くの方が参
加できるよう、調理はせずに稲葉先生によ
るデモンストレーションを見ながら、学ぶ
閲覧形式です。調理の流れやポイントとと
もにお料理の謂れなどを学びます。終了後
に実際に出来上がったお料理を試食して
いただきます。

第1回 おせち料理
11月28日（土）
10時～13時
（試食時間を含む）

筑前煮
田作り
鱈の幽庵焼き
錦玉子
きんとん
紅白なます
菊花かぶ



稲葉恭二先生
元「つきぢ田村」料理長、「箱
根強羅花壇」総料理長、現在
香川料理専門学校客員教授。
常総生協料理顧問。

定員数：30名（定員を超えたら抽選
とさせていただきます。）
申し込み締め切り：11月13日（金）
参加費：1,000円

今後の予定 *日程は後日決定いたします。
第2回 桃の節句（2月頃）
第3回 端午の節句（4月頃）
第4回 七夕の節句（6月頃）

キリトリ

11/28『稲葉先生 おせち料理教室』申込書（11/13 〆切）

コース名 _____ 班名 _____

組合員No. _____ お名前 _____

「小さな上映会だより 2015」（生協DVD貸出状況） 脱原発とくらし見直し委員会

タイトル	観た人数	観た場所	観た組合員さんの感想（お礼の言葉は一部省略しました）
モンサントの不自然な食べ物	1	自宅	大企業が国家を味方に付けて利益の為に人体に悪い影響があると分かっている物を平気で販売しているという事（しかも現在進行形で）がとても怖いと思いました。
	2	自宅	今まで何のうたがもなく口に入れていた食品、遺伝子組み換えでない表記されている作物・食品がどこまで人体に影響するかがよくわかった。食の安全をとっても自覚し、これからも生協さんの食品を安心していただきます！
	3	自宅	モンサントはYouTube でいつでも見られます。食べることが恐ろしくなるような情報ばかりだと食への関心が遠のきます。こういう選択で食べることが楽しくて健康につながるという前向きな映画で食を考えることが大切だと思うので、そういうDVDを集めてほしいと希望します。原発に関しても全く同じ。展望のないDVDを見ても現状把握に終わるだけなので共感を得ることは難しくなります。
ミツバチの羽音と地球の回転	3	自宅	スウェーデンの都市の話がすごいと思いました。3.11 前の取り組みだと思うと考えてしまいます。
	1	自宅	山口県の祝島の孝くん言葉が印象的でした。「こんな少人数で国や県が推進する原発建設を止めることはできないが、反対運動で建設を先に延ばすことができる。その間に事情も変わることを願って。」日本ではエネルギーを選べないのが、口惜しいというか残念でなりません。
	1	自宅	物に溢れ、簡単便利な生活に慣れてしまった私にとって、自然を共有し自立した生き方を求めて地道な営みをしている祝島の人々は、厳しいけれどとても豊かだと思った。そんな命である海をきれいなままにしておきたいという人々の思いを踏みにじるように、補償金を送りつけ原発建設を推し進める政府の卑劣なやり方は許せない。スウェーデンのエネルギー政策を見て、日本でも政策によって、脱原発・自然エネルギーへの転換ができることが確信できた。（青森の風力発電でも同じ）自然と良い環境を子供達に残していくことが私達大人の使命だと思う。
未来の食卓	3	自宅	給食にオーガニックを取り入れたという南フランスの小さな村は、すごいことです。子どもの健康と将来を考えて、最も見習いたいものです。ブドウ農園での農薬、本人がそれをやることにより、とても健康を害している。果物にはたくさんの農薬が入っているののでそれを口にしない選択をすべきである。
	1	自宅	オーガニック（BIO）のものを食べたいけれど値段が高くて、という悩みはどの国も同じなのだと思いました。20年前フランス・スペインへ行きましたが、スーパーにもBIOのものはたくさん売ってました。日本ではスーパーで探すと、ほんの小さな売り場で、今でもBIOの売り場が拡大しないのを見ると、農家も消費者の意識も変わっていないのかなと思います。DVDの中で村長さんも言っていたけど「気づく」ことが第一歩だと思います。全てオーガニック給食などできない、高くてムリ、という思い込みを捨てて、まずはやってみたベルジャック村の人たちに敬意を払いたいです。農薬による農家の人たちの健康被害がこれほど深刻だとは思いませんでした。ショックでした。「スーパーに行くといろいろ余計なものも買ってしまっけど、BIOのものを選んで買うようになって、ムダに買い物しなくなった」という村の主婦たちの言葉、私たちと同じだと思いました。生協で上手に買い物する仲間を増やしたいです。
	1	自宅	オーガニックの給食、孫にも食べさせてあげられたらどんなに良いでしょうか… スーパーのお惣菜、裏を見ると買う気がなくなります。目をつぶる事もありますが… いつも化学物質食べさせられていると思ってしまいます。
赤とんぼのいない秋	5	自宅	子供の頃（長野）田んぼ一面たくさんの赤とんぼがいて、秋を感じていたのを思い出しました。今田んぼには行く事がなくなりましたが、気が付いてみると赤とんぼいなくなったな…と感じました。皆が一人一人伝えて、気を付けていけたら良いと思います。

【担当委員より】

常総生協のDVDライブラリーは、職員や組合員個人、団体から寄付されたものがほとんどです。他の組合員にも観てほしいDVDがありましたら、題名の紹介やDVDの寄付をお願いできればと思います。

なお、以前の組合員アンケートでは、次のようなDVDがお薦めとして挙がっています。

- ① 小さな声のカノン ② ヒロシマ ナガサキ
③ 夕風の街 桜の国（佐々部清監督 こうの 史代原作）

この他「野田市 産廃焼却場からの煙の吹き出しの記録」のDVDがあります。お貸しできます」という情報を頂いています。「未来の食卓」をお薦めする声アンケートにもありました。この映画はとても前向きな内容です。

DVD 貸出の申込みは、注文書意見欄に題名と貸出希望と書いて生協まで。